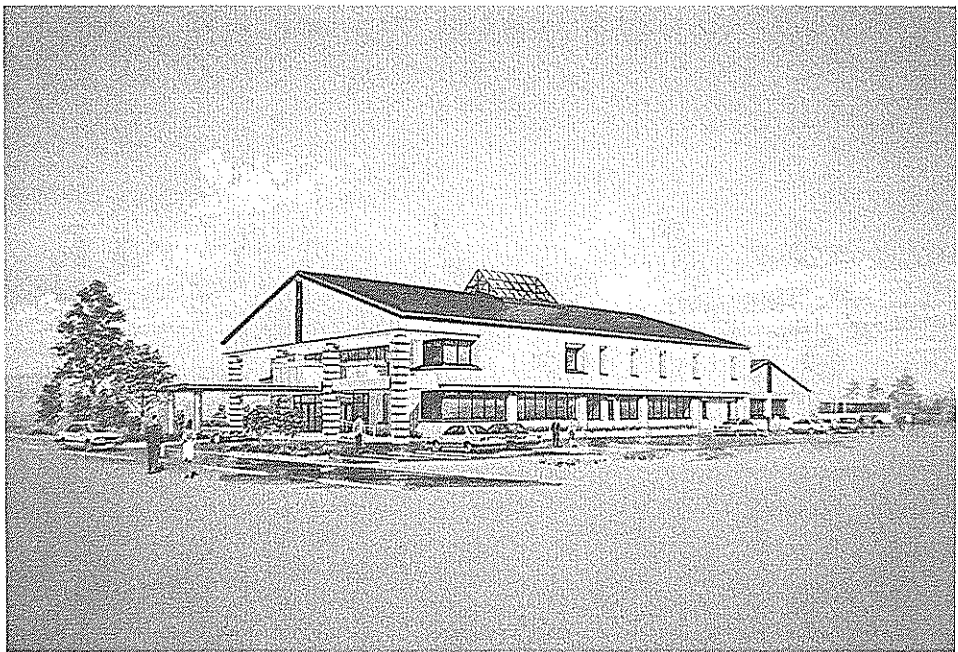


# 健康づくりの拠点施設

## 来年度に建設へ



保健福祉センター（仮称）の完成予想図

南国市の保健福祉・健康相談等の教育の場として、また保健福祉行政の総合化を図る施設として、市内大桶に「南国市保健福祉センター（仮称）」の建設が平成四年度に予定されています。

乳幼児から、高齢者までのライフスタイルに対応した生涯健康づくりが望まれている中で、この施設は乳児健診、予防接種、健康診査、機能訓練、健康相談等の保健福祉行政の拠点として大きな期待がかけられています。

### 保健・福祉行政の総合化を図る

南国市では、年少者人口が高齢者人口の増加に反比例するように減少を続けています。そこで、高齢化社会を支えるべき若者の力量を高め、支え

られるべき高齢者の健康管理をすることが何よりも先行する重要課題となっています。

このため、市内各地区に健康づくり推進員を置き『自分の健康は自分で守る』方向で組織化に取り組んでいます。

こうした中で、市民の皆さんからも施設の必要性が言われていましたが、このほど土

佐長岡郡医師会の好意で土地の一部を無償で貸与してもらい、『住民の保健福祉、健康づくりの核となる施設』として「南国市保健福祉センター（仮称）」を国の地域福祉推進特別対策事業を導入し平成四年度に建設することになりました。

保健福祉センターでは、二十一世紀を支える乳幼児の健診、8020運動に呼応する幼児から高齢者までの歯科健診、豊かな老後を過ごすための健康診査等の健診事業や予防接種事業、障害を持つ人のリハビリ事業、食生活改善事業（減塩食普及等）を実施。そのほか、保健福祉・健康相談等の教育の場として、保健福祉行政の総合化を図る施設でもあります。

## 南国市民の健康状態は△

### 10年早い

#### 高齢化

南国市の人口構成は、平成三年三月三十一日現在で十四歳以下が一七・七割、十五歳から六十四歳が六六・三割、六十五歳以上は一六・七割と、高齢人口比率が国の比率より十年先行して高齢化社会が進んでいます。

### 死亡原因の

#### 70割が成人病

南国市は、高知平野の中心を占める農業の盛んな土地で、かつては二期作を中心に夏場に最も過酷な農作業が集中していた地域です。このため塩分の取り過ぎや偏食、あるいは酒国土佐特有のアルコール

消費量の多さなどからか、三大成人病と言われる心疾患、がん、脳血管疾患の占める割合が高く、死亡原因の七〇割が成人病という状況です。

#### アレルギー症

#### 児童が増加

学校医の報告では、児童の肌の色が悪く、身体の弱い子供が増加し、保育所においては、措置児童の三〇割にアレルギー症状が見られることが明らかになっています。年少者人口が年々二百名減少する状態が続いている中で、子供たちがこのような状態で二十一世紀の南国市の発展は期待できません。

今後の地域社会を支える力に疑問も残るのではないのでしょうか…

### 施設の内容

保健福祉センターは、保健福祉行政の拠点として必要な機能を十分に備えた施設になります。

センターは、敷地面積三、一九四平方メートル、延べ床面積一、五八四平方メートル、一階に内科と歯科の建診室やリハビリ室、

食生活改善室の設置が、二階には大小の会議室が予定されています。また、スロープを二カ所に設けるなど身体に障害を持つ方の利便性にも十分配慮されています。このほか敷地内には高齢者の健康づくりのためのゲートボール場も予定しています。

完成すれば、市民の皆さんの保健福祉、健康づくりの推

進に大きな役割を果たすものと期待されています。

### おわびと訂正

10月1日号広報なんこく10ページ「われらサークル仲間」の中で「作曲家、弘田龍太郎」となっていました。「作曲家」の誤りでした。おわびして訂正します。



保健福祉センター（仮称）建設予定地

